

## 平成 18 年度における大規模研究開発の事前評価について（案）

## 1. 評価対象及び評価検討会

## ターゲットタンパク研究プログラム

【文部科学省】

概算要求額：74.3 億円（平成 19 年度）

全体計画：371.3 億円（平成 19 年度～平成 23 年度）

## &lt; 概要 &gt;

各種生命現象において重要な役割を果たしているが、現在の技術水準では解明が困難なタンパク質の生産、解析、制御等に必要な要素技術の開発を進めつつ、疾病等に関連するタンパク質の構造・機能解析を行い、新たな知識体系を確立する。このため、「タンパク 3000 プロジェクト」や「タンパク質解析基盤技術開発」から産み出されている成果及び整備された基盤を最大限に活用しつつ、学術研究や産業振興に欠かせない重要なタンパク質をターゲットに選定し、タンパク質の生産・解析・制御等を一体としてそれらの構造・機能解析を目指す。

## 評価検討会メンバー

《総合科学技術会議 有識者議員》

本席 佑

黒田 玲子

《評価専門調査会 専門委員》

垣添 忠生 国立がんセンター総長

座長 手柴 貞夫 協和発酵工業株式会社技術顧問

中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

《招聘者》

検討中（3～4名程度）

## 評価検討会日程

第 1 回：日程調整中

第 2 回：未定

## 太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業

【経済産業省】

概算要求額：89.6億円（平成19年度）

全体計画：364.5億円（平成19年度～平成26年度）

### <概要>

新型モジュールなどの新技術を活用した太陽光発電及び太陽熱利用システムを産業・公共施設等に導入し、システムの有効性及び経済性等を検証する。

### 評価検討会メンバー

《総合科学技術会議 有識者議員》

薬師寺泰蔵

柘植 綾夫

《評価専門調査会 専門委員》

笠見 昭信 株式会社東芝常任顧問

座長 平澤 冷 東京大学名誉教授

《招聘者》

検討中（3～4名程度）

### 評価検討会日程

第1回：日程調整中

第2回：未定

## 2 . 調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

- A. 科学技術上の意義  
当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。
- B. 社会・経済上の意義  
当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。
- C. 国際関係上の意義  
国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。
- D. 計画の妥当性  
目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。
- E. 成果、運営、達成度等  
投入資源に対する成果、運営の効率性、及び目標の達成度等。  
評価結果の反映状況の確認等。

ただし、Eについては、新規研究開発であることから、その内容を考慮。

### 3. 検討スケジュール

9月13日(水) 評価専門調査会  
・評価検討会の設置、スケジュールの確認等

9月下旬～  
10月上旬 } 第1回評価検討会  
・ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出

追加質問を回収し府省へ対応を発注

10月中旬～  
下旬 } 第2回評価検討会  
・追加ヒアリング、論点整理

評価コメントを回収し評価報告書原案を作成

11月上旬 評価専門調査会  
・評価報告書(案)の検討

11月中旬～  
下旬 総合科学技術会議  
・評価報告書(案)に基づく審議・結論